

鬼怒中だより

第5号

令和2年10月14日

発行者 校長 柿沼 靖雄



生徒信条 ～ 自ら判断し、実行し、責任を持とう ～

2学期が始まりました

1学期は、新型コロナウイルス感染症の影響で、前例のない学期となりました。手洗い・うがいの徹底、マスクの着用、友人との距離等々、日常生活において気にしなければならないことが多い中、その趣旨をよく理解し、自律的な生活をしていました。また、楽しみにしていた学校行事や、部活動の大会等も中止になり、精神的には大きな負担があったと思いますが、感情やストレスをコントロールし、しっかりとした態度で学校生活を送っていました。その姿に安心すると共に子供たちの頑張りに感謝をしております。

さて、例年より2日早く、令和2年度の2学期が始まりました。3年生はいよいよ義務教育の最終年度として進路選択の時を迎えます。2年生は名実ともに本校を引っ張る立場としての自覚と責任が期待されます。1年生は、中学生としての諸活動に主体的に取り組む姿勢が求められます。引き続きコロナ対策は必要であり、例年通りの実施ができない行事等もあると思いますが、対策を慎重に行いながら、学習内容や学年行事等、徐々にできる活動を増やしていきたいと思えます。ご理解とご協力をお願いいたします。

生徒会・後期役員が決まりました

10月1日（木）に後期生徒会役員を決めるための立会演説会演説会が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大対策として、事前に録画しておいた演説をTVで放送するという形で実施しました。『あいさつ運動の推進』『けじめのある学校づくり』『意見箱の拡充』等、それぞれの立候補者から、生徒自らの手によりよい鬼怒中学校を作っていこうという強い思いを感じました。

令和2年度 後期生徒会役員

○生徒会長	大金 ゆい（2-3）		
○生徒会副会長	押久保百花（2-2）	長塚 章真（2-6）	
	北川 夏楓（1-2）	吉田 璃音（1-2）	
○書記	近藤 夏希（2-3）	鈴木 陽翔（2-5）	
	手塚 陽祐（1-6）		
○会計	坂本 真唯（2-2）	石原 未羽（1-6）	

創立40周年・周年事業

今年は鬼怒中学校創立40周年にあたります。当初40周年記念式典と記念誌の発行を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症のため実施を見送ることとなりました。しかしながら、40周年という大きな節目でありますことから、式典等に代わる何かができないかとPTA役員の皆様と模索しておりましたが、その結果『中庭のリニューアル』をすることになりました。現在の中庭の意匠（川の流れと川岸や中州）や木々の配置等大きな枠組みはそのままですが、いくつかのエリアに分けて花を植え（多年草）、季節ごとにどこかのエリアで花が咲いている、という趣向になる予定です。花の植え付けについては、『自分たちの学校を自分たちの手で』『40周年の記念事業に自分も関わった』等、生徒にと



っても記念になるよう、全校生徒に作業をしてもらう予定で検討しております。作業等のスケジュールの詳細はこれからですが、今年度中に完成する予定です。どんな中庭になるのか楽しみにしてください。

アジサイが育ってます

枝さしをしたアジサイが順調に発根したので、7月末に鉢に植え替えました。最初はとてかわいいうアジサイでしたが、暑い夏を乗り切り立派に育っています。来年の梅雨頃、学校の敷地に植え替える予定です。



上段：6月末
下段：現在



*学校HPにはカラー版が掲載されています。
ぜひ、そちらもご覧ください。